



みんなで150周年に向かって！

川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子
【目指す児童像・・・素直な子】

令和6年12月23日(月)

狭山市立入間川小学校

〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9

TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数12/23 現在

480名

子供たちの学力向上を目指して

今年度は、5月14日に6年生、15日に5年生、16日に4年生の学力調査を実施しました。主に、昨年度までの学習内容についての結果となります。学力・学習状況の傾向を踏まえ、課題を見出し、今後の学習に活かしていきたいと思っています。

『埼玉県学力・学習状況調査』について

埼玉県では子供たちの一人一人の成長を支え、一人一人を確実に伸ばす教育を推進するため、平成27年度より「埼玉県学区力・学習状況調査」(小4から中3まで対象)を実施しています。これは、子供たち一人一人が、現在の自分の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていく(自己肯定感をもつ)ことを主旨とした調査です。今年で10回目となり、6年生の子供たちは自分の3年間の伸びを、5年生の子供たちは2年間の伸びを、確認することができます。今年度から、CBTでの解答となり、調査の方法が変わっています。学習内容だけでなく、これからは、タブレットの操作の方法も身につけなければいけません。

【国語】

今回の調査から

○5年生の「学力の伸び」が著しい結果となった。「平均正答率」で県・市を上回っており、平均も越えていた。
○どの学年も「言葉の特徴や使い方」についての問題は、60%以上の高い正答率である。特に4年生、5年生は、県・市の平均を上回っている。

- 4年生、5年生については、全体的によくできているが、記述する問題に課題がある。「自分が考えたことに対しての理由を書く」ということができている。思ったことやなぜそう思うのか理由を書く活動が必要である。
- 6年生は、昨年度からの伸びも下がってしまった。タブレットで長文を読むときは、画面に全部文章が入らないため、問題を読むのも大変そうであった。内容がわからないだけでなく、タブレットでの解答の仕方などの課題もあると感じる。

R6 4年生国語	児童生徒数	平均正答率	教科の領域等別平均正答率(%)				問題形式別平均正答率(%)			小4 レベル (平均)
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話の筋・聞きとる	読むこと	選択式	短答式	記述式	
埼玉県	45,101	51.9	63.1	41.8	45.5	39.9	56.5	43.2	51.5	5-B
狭山市	978	48.7	60.9	37.6	42.2	34.8	54.0	39.0	45.1	5-C
入間川小	87	53.0	67.7	42.8	43.2	37.6	58.7	43.4	41.4	5-B

R6 5年生国語	児童生徒数	平均正答率	教科の領域等別平均正答率(%)				問題形式別平均正答率(%)			小5 レベル (平均)	同集団における 学力の 伸び (平均)
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話の筋・聞きとる	読むこと	選択式	短答式	記述式		
埼玉県	45,553	56.9	65.1	53.1	51.6	48.0	58.7	52.3	55.1	6-B	1
狭山市	961	54.8	64.4	51.2	48.4	44.1	56.9	50.1	45.6	6-B	1
入間川小	71	58.5	67.4	60.1	52.1	47.2	60.2	55.6	45.1	6-A	1

R6 6年生国語	児童生徒数	平均正答率	教科の領域等別平均正答率(%)				問題形式別平均正答率(%)			小6 レベル (平均)	同集団における 学力の 伸び (平均)
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話の筋・聞きとる	読むこと	選択式	短答式	記述式		
埼玉県	45,796	56.7	62.8	55.3	52.1	49.4	56.7	59.9	35.7	7-C	0
狭山市	1,021	55.0	61.4	56.3	49.5	47.0	55.2	57.3	32.0	6-A	-2
入間川小	72	54.6	60.2	53.5	53.3	46.1	54.5	56.7	40.3	6-A	-2

【算数】

今回の調査から

- どの学年も、県・市の「平均正答率」を上回っている。少人数授業や習熟度別での授業が効果的に行われていた結果である。6年生は、全領域で県・市の「平均正答率」を上回っている。記述式の問題も正答率が県・市より高く、与えられたデータをもとに考察して、考察したことを書くことができる。
- 4年生は、「データの活用」での正答率が、著しく高い。棒グラフや表から特徴等を読み取る力がある。5年生は、「変化と関数」での正答率が高かった。割合や2つの数量の関係についての問題はよく理解できていることがわかる。
- 4年生の「測定」で課題があり、長さをはかる道具選びや地図を見て道のりや距離を求めるところが苦手である。はかるものの道具選びは、実際にはかる活動を通して理解できると考えられる。身近なもの、算数的活動を入れて授業を行っていくとよいと考えられる。

R 6 4年生 算数	児童生徒数	平均正答率	教科の領域等別平均正答率(%)				問題形式別平均正答率(%)			小4 レベル (平均)
			数と計算	図形	測定	データの活用	選択式	短答式	記述式	
埼玉県	45,091	62.6	65.5	56.1	63.2	62.1	63.6	64.7	17.2	4-A
狭山市	978	60.3	61.9	56.5	58.9	62.2	63.5	60.0	14.2	4-B
入間川小	87	62.7	63.4	58.0	60.3	68.2	65.3	63.1	16.1	4-A

R 6 5年生 算数	児童生徒数	平均正答率	教科の領域等別平均正答率(%)				問題形式別平均正答率(%)			小5 レベル (平均)	同集団に おける 学力の 伸び (平均)
			数と計算	図形	変化と関数	データの活用	選択式	短答式	記述式		
埼玉県	45,540	53.4	50.9	64.0	48.6	48.0	55.7	53.4	15.5	5-B	1
狭山市	960	51.3	49.1	61.1	47.8	44.8	54.5	50.5	10.4	5-B	1
入間川小	71	56.2	53.1	63.9	56.1	51.4	58.2	56.4	16.9	5-A	1

R 6 6年生 算数	児童生徒数	平均正答率	教科の領域等別平均正答率(%)				問題形式別平均正答率(%)			小6 レベル (平均)	同集団に おける 学力の 伸び (平均)
			数と計算	図形	変化と関数	データの活用	選択式	短答式	記述式		
埼玉県	45,783	50.9	56.1	51.3	58.8	25.8	54.8	50.0	3.9	6-B	1
狭山市	1,021	49.0	54.4	50.2	56.8	22.1	52.4	48.5	2.2	6-C	0
入間川小	72	52.1	56.2	54.0	58.9	28.9	57.1	50.0	5.6	6-B	0



みんなで150周年に向かって！

川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子
【目指す児童像・・・素直な子】

令和6年12月23日(月)
狭山市立入間川小学校
〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9
TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数 12 / 23 現在
480名

実施日 令和6年 4月 18日(木)

対象 6年児童

本調査の目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、
①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施設の成果と課題を検証し、その後改善を図る。
②学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
③①、②のような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。ことを目的としています。

調査事項 教科調査(国語・算数) 質問紙調査

本調査の結果を丁寧に分析し、教職員一丸となって、今後の学習指導へのより一層の改善・充実に努めていきます。なお、この調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではありません。

【実施教科における本校・埼玉県の概要】

国語	平均 正答率	領域別 平均正答率						問題形式別		
		知識及び技能			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	選択式	短答式	記述式
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項						
入間川小	67	66.3	87.5	72.2	54.2	76.4	66.2	67.5	65.3	66.7
埼玉県	69	66.2	87.5	75.3	61.6	69.2	72.0	71.2	61.9	65.5
全国	67.7	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7	69.9	59.7	64.6

【国語】

○問題形式別では、短答式問題で全国や県で平均正答率を上回り、漢字の書き直しはよくできている。日々の漢字ドリルへの取り組みや小テスト等が効果的であったと感じる。また、記述式も上回っており、「目的や意図に応じ、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くこと」や物語を読んで「心に残ったところとその理由をまとめて書く」ことはよくできている。

○領域別 平均正答率でも、「書くこと」は、全国や県の平均正答率を上回っている。

●「話すこと・聞くこと」は、全国・県よりも大きく下回り、課題である。今回の問題では、オンラインで交流する場面についての問題であったが、実際に経験をしたことのない場面であったため、想像しにくく、難しかったと考える。ICTを活用して、授業の中でも、オンラインでつなげて会話をするなどの活動の工夫が必要であると感じる。

算数	平均 正答率	領域別 平均正答率					問題形式別		
		数と計算	図形	測定	変化と関数	データの活用	選択式	短答式	記述式
入間川小	60	63.7	63.2		47.2	59.7	72.5	57.9	49.7
埼玉県	64	66.2	67.1		51.7	62.6	76.0	62.2	51.3
全国	63.4	66.0	66.3		51.7	61.8	75.3	62.0	51.0

【算数】

○「五角柱の面の数を書き、そのわけを底面や側面に着目して書く。」問題や「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて書く」問題、記述式は、全国・県の平均正答率を上回っている。

●全体的に、全国・県の平均正答率を下回る結果となった。その中で、特に課題であるのは、立体の体積を求める問題が全国・県の正答率を約5%下回る結果となった。体積の求め方（公式）の定着や小数の計算などに課題がある。また、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題も5%以上下回った。算数だけではなく、社会など他教科とも関連させ、グラフから大事なことを読み取るという活動を工夫して行っているといふ。

【質問紙】

質問番号	質問事項											
(9)	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	36.6	49.3	8.5	5.6							0.0	0.0
埼玉県（公立）	47.7	38.2	8.7	5.4							0.0	0.0
全国（公立）	43.4	40.7	10.5	5.4							0.0	0.0

1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない

○「自分には、よいところがあると思いますか」の質問は、全国を上回り、県と同じ結果となった。学校生活の中でも、自分に自信をもって、意欲的にいろんなことに取り組んでいる児童が多い。

○「人の役に立つ人間になりたい」97%、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」85%と全国・県の平均を大きく上回る結果となった。自分に自信を持てる児童は、友達や周りにいる人たちへも何かしてあげたい、役に立ちたいという意欲につながっていると感じる。

●「授業の中でのPCやタブレットなどの活用の頻度」については、とても低い結果となっている。様々な場面でICTを有効に活用できるよう、学習活動の工夫をしていきたい。